

[1156/4A-070-001]

Ver.18

4.内分泌学的検査 >> 4A.視床下部・下垂体ホルモン>>4A070 アルギニンバソプレッシン(抗利尿ホルモン(ADH))

アルギニンバソプレッシン(抗利尿ホルモン(ADH))

arginine vasopressin

連絡先 3764

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

1156

001

AVP(ADH)

検査予約

至急オーダー

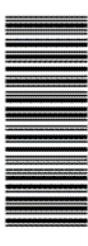
不可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダ イテスト	
注	80 外
<input type="checkbox"/> 冷	<input type="checkbox"/>
セカ2.	
	
血液	*_*_*_*_*_-96001
中検外2	**_*_*_*_*_*_*_*
P5	5ml

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

[1156/4A-070-001]

Ver.18

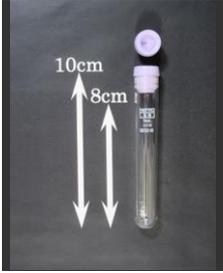
4.内分泌学的検査 >> 4A.視床下部・下垂体ホルモン>>4A070 アルギニンバソプレッシン(抗利尿ホルモン(ADH))

アルギニンバソプレッシン(抗利尿ホルモン(ADH))

arginine vasopressin

連絡先 3764

01	P5	EDTA-2Na(薄紫)	
採取材料	血液	採取量	5 mL
冷却遠心		冷却遠心	
測定材料	血漿	測定必要量	1.2 mL



採取容器について

検体採取について

2016年9月26日の新試薬採用により, DDAVP(デスマプレシン)との交差性が低くなるため, DDAVP投与中の患者でも測定可能となります.
溶血検体不可.

採取後検体の取扱い

検体搬送について

氷冷搬送

採取検体の保存条件

	保存検体種	優先 保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	血漿 (冷却遠心)	保存条件1	凍結					

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
不可				
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

検査に要する時間(生理検査)

再検査・追加検査の対応可能日数

検体到着日から60日間 (検体量ある場合のみ)

(分析物の安定性については「採取検体の保存条件」を参照)

[1156/4A-070-001]

Ver.18

4.内分泌学的検査 >> 4A.視床下部・下垂体ホルモン>>4A070 アルギニンバソプレッシン(抗利尿ホルモン(ADH))

アルギニンバソプレッシン(抗利尿ホルモン(ADH))

arginine vasopressin

連絡先 3764

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

検査機器	
検査所要日数	4～7日
検査部門・委託先	外部委託 (LSIメディエンス)
検査部門(平日時間内)	
検査部門(時間外・休日)	
検査結果報告について	
基準値設定材料・検査方法	
基準値設定材料	血液
検査方法	ラジオイムノアッセイ (RIA) 二抗体法

生物学的基準範囲

		男性	女性	単位
00	水制限	4.0 以下	4.0 以下	pg/mL
00	自由飲水	2.8 以下	2.8 以下	pg/mL

基準値情報

緊急異常値

電話連絡対応

臨床的意義

異常値を示す病態・疾患

参考文献

JLAC10

分析物	4A070	アルギニンバソプレッシン(抗利尿ホルモン(ADH))
識別	0000	
材料	022	血漿

[1156/4A-070-001]

Ver.18

4.内分泌学的検査 >> 4A.視床下部・下垂体ホルモン>>4A070 アルギニンバソプレッシン(抗利尿ホルモン(ADH))

アルギニンバソプレッシン(抗利尿ホルモン(ADH))

arginine vasopressin

連絡先 3764

測定法	001	ラジオイムノアッセイ (RIA)(二抗体法)
-----	-----	------------------------

変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2011/12/20	2011/12/16～	採血容器変更
3	2012/04/07	2012/04/02～	検査受託終了
4	2014/03/04	2014/03/05～	検査受託再開, 基準値変更
5	2014/03/28	2014/04/01～	委託先会社名変更(三菱化学メディエンス⇒LSIメディエンス)
6	2015/04/24	2015/04/01～	外部委託先変更(LSIM⇒BML), 報告日数・検査方法変更
7	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
8	2016/09/12	2016/09/26～	検査試薬・基準値・検体採取に関する注意変更
9	2017/03/21	2017/02/23～	検体ラベル表記変更[O]⇒[]
10	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
11	2019/04/30	2019/04/01～	外注業者変更([BML]⇒[LSIM])
12	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
13	2021/08/02	2021/05/27～	採血容器変更
14	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
15	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
16	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
17	2023/12/21	2023/12/21～	必要検体量を追記
18	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定